

測定する能力	
漢字・語彙力	論理的言語力
論理的読解力	論理的思考力
論理的表現力	

漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。

日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえたり、「ことばのつながり」、指示語・接続語などを論理的に扱う力。

文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係、文章全体の論理構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。

文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。思考し、自分の考えを論理的に書く力。

他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。

《問題Ⅰ》漢字・語彙力

(60点)

●解答

第一問

- (1) 【言葉】オ 【意味】ク
- (2) 【言葉】イ 【意味】ケ
- (3) 【言葉】ウ 【意味】カ

第二問

- (1) 無情 (2) 断念 (3) 放置

第三問

- (1) 冬季 (2) 解放 (3) 意外
- (4) 異動

第四問

- (1) 引退 (2) 許可 (3) 準備

第五問

- (1) 父は畑に少量の農業を散布する。
- (2) かぜの予防のためにマスクをつける。

■配点

- 第一問 各6点(言葉・意味 各3点)
- 第二問 各3点 第三問 各3点
- 第四問 各3点
- 第五問 各6点(並べかえ・漢字 各3点)

◆解説

第一問 小学生レベルの慣用句とその意味について確認します。

第二問

意味から二字熟語を作成します。単漢字の意味を考え、どの漢字との組み合わせがいいかも考えましょう。

第三問

同音異義語の問題です。文脈から意味を考え、適切な熟語を選びましょう。

(1) 「冬期」は、冬の間。「冬季」は冬の季節。

《問題Ⅱ》論理的言語力

(20点)

●解答

第一問 ア・オ

第二問 エ

第三問 (1) オ (2) ウ

■配点

- 第一問 各4点 第二問 4点
- 第三問 各4点

◆解説

第一問

ア「借りた」が述語で、主語は省略されています。

イ「犬が」↓「にげ出した」が、主語と述語の関係。

ウ「電車が」↓「運休した」が、主語と述語の関係。

エ「遊具が」↓「てっ去された」が、主語と述語の関係。

オ「ならんだ」が述語で、主語が省略されています。

カ「中が」↓「混雑している」が、主語と述語の関係。

第二問

「祖母は」が主語で「使っている」が述語。「いつも」↓「使っている」。「赤い」↓「つえを」↓「使っている」とつながります。

第三問

接続語の問題は、文と文、語句との関係を考えます。

(1) 空所の前文が、「良い面もある」と言っているのに対して、空所後文は、「問題も存在している」と反対のことを言っているので、逆接の「しかし」。

(2) 空所前文で、「問題も存在している」と言っていて、その後に、その例をあげているので、例示の「たとえば」。

《問題Ⅲ》論理的読解力

(40点)

●解答

第一問 (1) ウ (2) ア (3) オ

第二問 (4) イ (5) エ

第三問

煙の中にある姿の見えないおじいさんを捕まえたなら、ごほうびがもらえること。

第四問

袋の中におじいさんがいそうなのも見えず、呼びかけても何の返事もないから。

ア ○ イ ○ ウ ×

エ × オ ×

■配点

- 第一問 各2点 第二問 10点
- 第三問 10点 第四問 各2点

◆解説

第一問

- 後ろの文に「おじいさんを呼び出す手筈をきめました」とあるので、「あのおじいさんを煙の中から呼び出して、一緒に遊んでみたいなあ！」だと分かります。
- おじいさんが「わしは山から来たのだ」と答えたのは、「おじいさんはどこから来たの？」と質問されたからです。
- 後ろのおじいさんのセリフの中に「お前たちと一緒に遊ぶと」とあるので、「おじいさん、煙の中から出て来てくれない？一緒に遊ぼうよ」だと分かります。
- 後ろのおじいさんのセリフの中に「何とかとか言って、わしを引きとめるつもりだな」とあるので、「それともおじいさんは僕達が恐いの？」だと分かります。
- いつもおじいさんが出てくる煙を袋の中に閉じ込めた後のセリフなので、「おじいさんを捕まえた、捕まえた」。

第二問

直前のおじいさんのセリフ中の「わしはお前達のたき火の煙の中にいて、姿を見せないから、そのわしを捕まえてごらん。みごと捕まったら、ごほうびを上げる」の内容を答案にふさわしい形に変えて字数以内にまとめます。

第三問

理由は傍線部前の「袋は大きくふくらんでそこに転がってるきりで、中におじいさんがいそうなようすも見えませんが」と「おじいさん、おじいさん！」と呼んでも、何の返事もあります。これらを字数以内にまとめます。

第四問

- ウ おじいさんは「いつまでも一つの所にじっとして居れないのだ」と言っているので、×。
- エ 捕まえる方法はなかなか思いつかなかったので、×。
- オ おじいさんは林の中にいっぱいいきのこ

が生えるようにただけです。また、そのきのこが高級かどうかは本文に書かれていないので、×。

《問題Ⅳ》 論理的思考力 (40点)

●解答

- 第一問 (1) ラクダ (2) こぶ (3) 血液中

第二問 とても

第三問

大勢の護衛が演説するアメリカの大統領を守っている。

(演説するアメリカの大統領を大勢の護衛が守っている。)

第四問

赤い車を追っているパトカーがぼくの目の前を通り過ぎた。

(ぼくの目の前を通り過ぎたパトカーが赤い車を追っている。)

第五問

ぼくは外国人に英語で道をたずねられたが、上手に説明することができなかった。で、英語の勉強をもつとがんばろうと思っ

■配点

- 第一問 各4点 第二問 6点
- 第三問 6点 第四問 8点
- 第五問 8点

◆解説

第一問

ラクダが数日間なら飲まず食わずでも生きることができる理由について書かれた文章です。(1)主語になるのは「ラクダ」。(2)脂肪をたくわえている場所は「こぶ」。(3)水をたくわえている場所は「血液中」。

第二問

言葉のつながりを考えると、「とても」↓「残っていない」がつながりません。「家の」↓「冷蔵庫に」↓「残っていない」。「ほとんど」↓「残っていない」。「食材が」↓「残っていない」とつながっています。

第三問

「護衛が」↓「守っている」が主語と述

語の関係。言葉のつながりを考えたとき、「一人が」とつながる言葉はありません。

第四問

二つの文章に共通する言葉は、「パトカーが」。どちらかの文を「パトカーが」が文末になるように変形して、もう一方の文に入れます。

第五問

逆接の「しかし」を逆接の接続助詞に、順接の「だから」を理由を表す接続助詞に変えます。

《問題Ⅴ》 論理的表現力 (40点)

●解答例

第一問

糸井……地元産の食材だったら新鮮でより安心できる(こと)

矢野……輸送費を節約できて、排気ガスの量を減らせる(こと)

先生……地元農業が活性化して地域全体の活性化につながる(こと)

第二問

(例)直売所で消費者の反応や求めるものを知ることができ、生産にいかすことができるから。

■配点

- 第一問 各8点 第二問 16点

◆解説

第一問

地産地消の利点を述べているのは糸井さん、矢野さん、先生です。それぞれ利点を述べているセリフを答案にふさわしい形に変え字数以内にまとめます。

第二問

地産地消による地元農業の活性化の理由を会話文の内容をふまえて考えます。傍線部直前の「消費者と生産者のきよりが近くなる」、矢野さんのセリフ中にある「地元の直売所で販売」という部分から直売所が消費者と生産者のきよりを近づけていると考えることが出来ます。そこで、きよりが近づくとはどういうことなのか、それによってどのような効果があるのかを考えます。